

読んでごらん
おとし311よ



2022

図書目録「**読んでごらんおもしろいよ**」2022(57号)をおくります。

このなかにある本のほかにも、おもしろい本、楽しい本が、たくさんあると思いますが、みなさんがどんな本を読もうかなとまよったとき、この目録を役立ててください。

これらの本は市立図書館や、みなさんの学校図書館にもあります。

この目録を利用するために

1. 令和2年(2020年)11月から令和3年(2021年)11月に発行された本の中から、絵本と読みものを中心に75点選んでいます。
2. 配列は対象別に、書名の50音順になっています。
3. 対象別にわけてありますが、これはめやすです。
4. 目録は書名・著者・出版社・頁数・大きさ・本体価格の順に書いてあります。
5. 本体価格は令和3年(2021年)12月現在のものです。

(5) かつおどりとあほうどり

谷口國博 作・絵

童心社 32P 20×27cm 1,300円 〔創作絵本〕

遠い^{とお}海^{うみ}の上に、二つ^{ふた}の島^{しま}があった。一つは、かつおどりの島。もう一つは、最近^{さいきん}引越^ひしてきたあほうどりの島。かつおどりは、あほうどりが^き気^きになって仕方^{しかた}ない。隣^{となり}の島をのぞいてみると……なんとあほうどりもこちらをみていた。しんぞうがドキドキ。



(6) きこのこのこふしぎのこ

白水貴 監修

ひさかたチャイルド 27P 21×24cm 1,300円 〔知識絵本〕

スーパーに並ぶしいたけ、なめこ、えのきたけ。林や森ではもっとたくさんのきのこがみられるよ。ピンクや青など色とりどり。どくがあるものや、もしやもしやまんまるふしぎな^{かたち}形。けむりみたいなものがでているきのこもあるよ。なんだろう？



(7) きんたろうようちえん

やぎたみこ 作

あかね書房 32P 27×22cm 1,400円 〔創作絵本〕

山^{やま}の上^{うえ}にたっているきんたろうようちえん。子ども^{こども}達はロープウェイ^{ろーぷ}にのってのぼってくる。ロープウェイ^{ろーぷ}を動かすのは、園長^{えん}のきんたろうせんせい。とてもおおきくて、ものすごく力もちで、いろんな動物^{どうぶつ}のこ^{はな}とばを話せるんだ。



(8) くまちゃんがちいさくなっちゃった

トム・エリヤン 文 ジェーン・マッセイ 絵 なかがわちひろ 訳

光村教育図書 25P 26×26cm 1,400円 〔創作絵本〕

おとうさんがとっても大きなくまちゃんをくれた。ぼく、大きなくまちゃんがすき。犬^{いぬ}が吠^ほえたってくまちゃんのうしろにかくれちゃえばこわくない。ある朝、あれっ、くまちゃんが小さくなってる。「おとうさん、くまちゃんがちぢんじゃった！」



(9) せんろをまもる！ドクターイエロー

鎌田歩 さく

小学館 32P 19×27cm 1,300円 〔創作絵本〕

ぼくはドクターイエロー。おきやくさんをのせない、とくべつなしゃりょう。せんろのこ^{げん}しょうをみつけるおいしゃさんなんだ。しんかんせんたちが元気にしゅっぱつできるように、せんろをしっかりとしらべてきたよ。安心^{あんしん}して、いってらっしゃい！



(10) どうみんホテルグッスリドーズ

かめおかあきこ 作

岩崎書店 32P 29×21cm 1,400円 〔創作絵本〕

ホテルグッスリドーズは、冬眠^{とうみん}ホテル。3匹^{びき}のうさぎたちがおでむかえ。ヤマネヤリス、くま、アナグマが眠^{ねむ}りについた。「おやすみなさい、グッスリドーズ」しばらくしてアナグマが目^めを覚^さました。「ねむれない、ねむれない、ねむれない！」



(11) トミーのぼうけん 一たのしくチャレンジ！キッズヨガー

おのけいこ 作 星野イクミ 絵

ひさかたチャイルド 32P 28×22cm 1,300円 〔創作絵本〕

トミーは『ゆうしゃになるほん』を見つけた。「勇者^{ゆうしゃ}だって！すごいぞ！」本にかかれたお城^{しろ}をめざし、ジャングルをかきわけ^{おお}ていくと、大きなぞうが「綱引き^{つなひ}で勝負^{しょうぶ}しよう」とおせんぼ。トミーは本を取り出して、ぞうのページを急い^{いそ}でひらいた。



(12) ぼくかめた

長澤星 作

WAVE出版 24P 22×21cm 1,200円 〔創作絵本〕

ぼくはカメのかめた。とくいわざはにんぼう石^{いし}のふり。うみちゃんという女^{おんな}の子と、かくれんぼやかけっこをしている。ぼく、かけこはしるのはやいんだ。ある日^ひ、うみちゃんが言^いった。「かめた、いたくない？こうらがはがれてる！！」



(13) まよなかのトイレ

まるやまあやこ さく

福音館書店 28P 27×20cm 900円 〔創作絵本〕

真夜中^{まよなか}、トイレにいきたくなかったひろこに、ぬいぐるみのみいこがいった。「わたしのしっぽにつかまっていけばだいじょうぶ」みいこと一緒に薄暗^{いっしょ}いろうかをゆっくりと歩いていき、そ^{ある}うっとトイレのドアをあけると、なんと中にはやぎがいる！

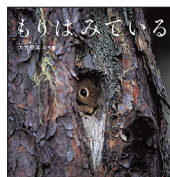


(14) もりはみている

大竹英洋 文・写真

福音館書店 24P 22×21cm 900円 〔知識絵本〕

静^{しず}かな森。森はなにもしゃべらないけれど、いつだってきみを見^みている。木の穴^{あな}からアカリスが、木の枝^{えだ}の上からはこぐまが見^うている。ゆうぐれには木のむこうからトナカイが、暗^{くら}い夜にはフクロウが見^{よる}ている。杉^{すぎ}の木のかけからは、だれが見^みているかな？



(15) ゆきだるまとかがみもち

林木林 作 岡本よしろう 絵

鈴木出版 28P 27×22cm 1,400円 [創作絵本]

庭^{にわ}のゆきだるまと家^{いえ}の中^{なか}のかがみもち。ぼくたちはなんてよく
 いているんだ。いっしょにあそんでみたいなあ。ふたりはガラス
 戸^とごしに見^みつめあっていた。そこでこの家のおじいさんがいねむ
 りしている間^{あいだ}に、ゆきだるまはさくさくずりずり、家の中へ。



◆小学1・2年生から◆

(16) おすしやさんにいらっしやい！ —生きものが食べものになるまで—

おかだだいすけ 文 遠藤宏 写真

岩崎書店 42P 22×29cm 1,600円 [魚]

「へい！いらっしゃい！どれをおすしにしようか。あかいお魚、キンメダイ！ニョロニョロしてるぞ、アナゴ！プシューツ、水をはきだした、イカ！魚たちはね、海で生きているところをつりあげられたんだ。生きものが食べものになるまでをみてみよう。」



(17) けんだましようぶ

にしひらあかね 作

福音館書店 80P 22cm 1,100円 [日本文学]

けんだまをもってでかけたけいくんは、のはらできつねにであった。きつねのけんだまは、たまがみかんやりんごにだいへんしん。つぎにであったたぬきのけんだまは、もっとへんでこで……。もりのおくには、けんだまにまほうをかけるまじょがいた！



(18) しんぱいなことがあります！

工藤純子 作 吉田尚令 絵

金の星社 94P 22cm 1,200円 〔日本文学〕

ももは1年生になってから、まだ一度もわすれものをしたことがない。ぜったいにわすれものをしたくないももは、きめた。「ぜーんぶもっていく！」よろよろ歩いていると、かずまくんに言われた。「ももっち、ヤドカリみたいだな」



(19) ^{すいぞくかん}水族館 —いきものとひとのいちにち—

ほりかわあやこ さく

福音館書店 43P 29×23cm 1,600円 [知識絵本]

ま^{あさ}ちの水族館に朝がきた。今日もスタッフはお客さん^{きやく}をむかえる準備に大いそがし。魚やペンギン、オットセイ。いろんな生き物^{いんぶつ}たちがいるけれど、ここではたらく人^{ひと}たちはどんなことをしているのかな？水族館のいちにちをのぞいてみよう。

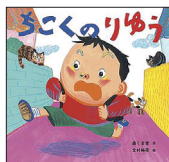


(20) ちこくのりゅう

森くま堂 作 北村裕花 絵

童心社 36P 21×23cm 1,300円 [創作絵本]

ぼくはマサシ。きょうはメッチャたいへんやったんや。あさおきたら、とうちゃんとかあちゃんがカブトムシにかわっとった。ふたりにゼリーをあげてたら、がっこうがはじまるじかんやった。えらいこっちゃ。いそいでうちをとびだしたらな……。



(21) どーすんの!? おもちゃゲット大作戦^{だいさくせん}

吉田純子 作 武田美穂 絵

ポプラ社 95P 22cm 1,380円 [日本文学]

おかあさんは、ものすごーくケチんぼだ。クラスで大人気^{にんき}のジュピターロボを買ってくれない。それなのに「もってるんでしょ？」とヨシキにきかれて、とっさにうなずいたら、みんなであそぶことになっちゃった。どーすんの!? ぼく!! 大ピンチ!



(22) ぱくぱくはんぶん

渡辺鉄太 ぶん 南伸坊 え

福音館書店 32P 20×27cm 900円 [創作絵本]

「はんぶんのこしといてね」おおきなケーキをやいたおばあさんは、くいしんぼうのおじいさんにいった。おじいさんは「もちろんもちろん」といって、ぱくぱくはんぶん。つぎにやってきたいぬのジョンにおじいさんはいった。「はんぶんのこしとけよ」



(23) バスにのるひ

はせがわさとみ 作 nakaban 絵

絵本塾出版 32P 27×22cm 1,500円 [創作絵本]

やまのきつねのこは、にんげんにばけて、まちにすむおじさんにあい^{あい}にいった。はじめてのバス。バスでいとまるごとに、きのみをひとつパクリ。これでおりるところもまちがえない。ところが、となりのあかちゃんがきのみにてをのばし……。



(24) フンコロガシといしころ ―ころころころころうみへいく―

クレール・シュヴァルツ 作 ふしみみさを 訳
クレヨンハウス 32P 28×20cm 1,700円 〔創作絵本〕

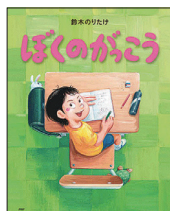
ジャリーはとかいのいしころ。まいにちおなじくらしにあきあき。あるひ、うみからきたいしころマルーにすてきななしをきいた。うみべのくらしにあこがれたジャリーは、ふんころがしのコロんとともに、ころころころころうみをめざす。



(25) ぼくのがっこう

鈴木のりたけ 作・絵
PHP研究所 32P 26×20cm 1,300円 〔創作絵本〕

まいにちおんなじがっこうじゃなくて、たまにはちがうがっこうにいつてみたい。げたばこにとりがすんでいたり、ろうかがぐにやくにゃだったり。こどもがせんせいになるのもいいな。だんごむしあつめやねりけしづくりのじゅぎょうをするよ。



(26) ぽっかりライトせんせい

はっとりひろき 作
講談社 32P 24×20cm 1,300円 〔創作絵本〕

「ぽっかりライト！」のかけごえで、いろんなびょうきをみつてくれるぽっかりライトせんせい。めざましどけいくんや、そうじくんのびょうきをなおしてくれた。ぴーぽーぴーぽー。「こんどはいったいだれがはこばれてきたんじゃ」



(27) まっくろ

高崎卓馬 作 黒井健 絵
講談社 35P 27×22cm 1,600円 〔創作絵本〕

「みんなのところにうかんだことをかいてみましょう」そういったせんせいのめがまんまるに。おとこのこが、がようしをまっくろにしてたから。「ちゃんとしたえをかきなさい」と、こまったせんせいがこえをかけても……。まっくろくろくろ、まっくろけ。



(28) ヤマネのぼうやはねむれない！

ザビーネ・ボールマン 文 ケルスティン・シェーネ 絵 若松宣子 訳
ひさかたチャイルド 25P 22×27cm 1,300円 〔創作絵本〕

ふゆごもりのきせつ。ねむらないヤマネはヤマネじゃないってママはいうけれど、ヤマネのぼうやはねむれない。めをとじてもねがえりをうっても。そこへキツネがやってきた。「ヒツジをかぞえてごらん」といって、いっしょにかぞえてくれたけど……。



(29) 4ひきのちいさいおおかみ

スベンヤ・ヘルマン 文 ヨゼフ・ヴィルコン 絵 石川素子 訳
徳間書店 33P 26×25cm 1,800円 〔創作絵本〕

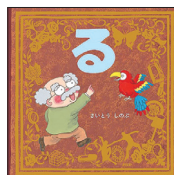
ほしのきれいなよる。おかあさんがでかけているときに、4ひきのおおかみのこどもがめをさました。よるのもりは、あまいに
おい。4ひきはそとにでたくてたまらなくなった。ひとあし、も
うひとあし。くらいもりのなかをどんどんすすんでいくと……。



(30) る

さいとうしのぶ 作・絵
PHP研究所 32P 20×20cm 1,300円 〔創作絵本〕

しりとりはかせが、とりのルドルフとしりとりをしていると、「サル」「ルビー」「ピール」「また、る！？」はかせがこたえるときは『る』からはじまるものばかり。「えーい、おもしろい！」「はかせは『る』のつくものをさがしにいえをとびだした。



◆◆小学3・4年生から◆◆

(31) ^{あおぞら}青空モーオー！ ―牧場ですごした七日間―

堀米薫 作 pon-marsh 絵
学研プラス 113P 22cm 1,300円 〔日本文学〕

あしたから夏休みなのに、^{なつやす} ぼくは小さくため息がもれた。^{ちい} 秀と遊ぶ^い がよくそくをしていたのに、^{しょう} 終業式に声をかける勇気がなかった。^{しゅうぎょう} そんなとき、いとこの大ちゃんが「うちの牧場に来ない？」とさそってくれた。^こ 工藤牧場での七日間^{くどう} はじまる。



(32) おれは女の子だ

本田久作 作 市居みか 絵
ポプラ社 167P 21cm 1,300円 〔日本文学〕

おれは絵がとくいだ。2時間目の図画工作は空の絵をかく。
空想の空だ。空はピンクにしよう。一番好きな色だ。「ピンクな
んて女の子みたいだ」と鈴木が言った。めちゃくちゃ頭にきたか
ら言ってやった。「おれは女の子だよ。もんくあんのか」



(33) カブトムシの音がきこえる 一土の中の11か月一

小島渉 文 廣野研一 絵

福音館書店 40P 26cm 1,300円 〔昆虫〕

ピルにかこまれた都会の公園。そこには、落ち葉をあつめて植物の肥料にするための「腐葉土」がある。その山を掘りかえすとカブトムシの幼虫が……。1匹みつかるにつぎつぎにみつかる。なぜこんなに寄りあつまってくらしているのだろう。



(34) きっと、大丈夫

いまたあきこ 作 黒須高嶺 絵

文研出版 135P 22cm 1,300円 〔日本文学〕

4年生の咲良は、庭のミカンの木にアゲハチョウのたまごを見つけた。去年大好きなお兄ちゃんが事故で亡くなり、一緒に育てる約束をしていたけれど、ふ化を見ることができなかった。今年は、親友の愛と一緒に育てる。「お兄ちゃんとの約束、守りたい」



(35) くしゃみおじさん

オルガ・カブラル 作 小宮由 訳 山村浩二 絵

岩波書店 62P 22cm 1,300円 〔外国文学〕

ヒヤッツククション！荷馬車にのったおじさんの大きなくしゃみで、あたりにはすなけむりが立ち、まえにいたうさぎとねこといぬがおかしなことになってしまった。あのくしゃみのせいだ！おじさんをさがして、もとにもどしてもらわなきゃ。



(36) サイコーの通知表

工藤純子 著

講談社 173P 20cm 1,400円 〔日本文学〕

4年生の朝陽のこれまでの通知表は、ぜんぶ真ん中の「できる」。通知表なんて、ただの紙切れじゃん。あんなので何かわかるの？会社では、部下も上司の成績をつけることがある、とお父さん。それってぼくらが先生の通知表をつけるってことじゃない？



(37) 坂の上のパン屋さん

尾崎美紀 作 たかおかゆみこ 絵

文研出版 159P 22cm 1,400円 〔日本文学〕

神戸に引っ越してきた4年生の翔太は、パンが大好き。近所の『食パントウジロウ』は、80歳のおじさんが手ごねで作るパン屋。有名でいつも売り切れ。やっと食べることできた食パンは、特別なおいしさだった。どうやって作るんだろう。



(38) しらべるちがいのずかん

おかべたかし 文 やまでたかし 写真
東京書籍 87P 25cm 1,600円 〔図鑑〕

インコとオウム、ハリネズミとヤマアラシ、糸いとこんにやくとしらたき、日本のあやとりとアメリカのあやとり、関西のネコと関東かんとうのネコ。「ににているもの」には、ちがいがある。かんさつしたり、じっけんしたり、推理すいりすることでどうちがうのかしらべてみた。



(39) 体育がある

村中李衣 作 長野ヒデ子 絵
文研出版 151P 22cm 1,300円 〔日本文学〕

わたし、亀山あこは、体育がきらい。花園小4年1組に転校するまで、さかあがりができなくても、ひとりぼっちだなんて思わなかった。なのに、なぜかママは体育鬼コーチに変身。弟に「おねえちゃんはんばるわ」とママ。いいえ、がんばれません。



(40) つくしちゃんとおねえちゃん

いとうみく 作 丹地陽子 絵
福音館書店 71P 22cm 1,200円 〔日本文学〕

2年生のつくしちゃんには、ちょっとおこりっぽくて、いばりんぼうのおねえちゃんがいる。頭あたまがよくて、なんでもできるじまんのおねえちゃんだけど、右足が不自由みぎあし ふじゆうではやく歩あるくことができない。ある朝、二人は学校にちこくしてしまいそうになり……。



(41) どうぶつせんきょ

アンドレ・ホドリゲス ラリッサ・ヒベイロ パウラ・デスグアウド
ペドロ・マルクン 作 木下真穂 訳 林大介 監修・解説
ほるぷ出版 44P 22×22cm 1,500円 〔創作絵本〕

森の王さま・ライオンが、川かわのながれを勝手かってに変えてプールを作った。水はみんなのものなのに！ どうぶつたちはかんかん。べつのリーダーをえらぶため、はじめてせんきょをすることになった。りっこうほしたのは、サルとナマケモノとヘビとライオンだ。



(42) どっちでもいい子

かさいまり 作 おとないちあき 絵
岩崎書店 107P 22cm 1,200円 〔日本文学〕

人前で話はなすのが苦手な4年生のはる。自分の考えがいえなくて、いつも、どっちでもいいといってしまう。クラス替えの日、教室から声が聞こえた。「はるちゃんて？ ああ、いてもいなくても、どっちこえでもいい子ことばでしょ」って。言葉のとげが、ザクツと体をさした。



(43) トムと3^じ時の小人^{こびと}

たかどのほうこ 作 平澤朋子 絵
ポプラ社 101P 22cm 1,380円 「日本文学」

つとむは^{ふるどうぐや}古道具屋で1さつ^{あかほん}の赤い本を見つけた。『トムと3時の小人^{おとこ}』だ。読み^{よみ}たい!と思ったつとむは、図書館^{としやかん}で同じような本を見つけた。あの赤い本にそっくり。ただし色^{いろ}は青。同じ本がよかったけど。ドキドキしながら表紙^{ひょうし}をそっとめくった。



(44) ^{ねが}願いがかなう ^{じ どう}自動はんばいき —ジャンケン ^{ひっしょう}必勝てぶくろ—

山口タオ 作 たかいよしかず 絵
童心社 151P 18cm 1,000円 〔日本文学〕

不思議なグッズがそろそろ〈願いがかなう自動はんぱいき〉のう
わさを聞いたか？ 金色にかがやくそいつは、ロケットのようにと
んできて、みんなの願いをかなえてくれる。『オマカセクダサイ。
願イヨカナエル、ろけっとノオ mise、タダイマ かんてん イタシマシタ』



(45) みんなのためいき^{ずかん}図鑑

村上しいこ 作 中田いくみ 絵
童心社 166P 22cm 1,200円 [日本文学]

「は一」ためいきがでた。4年生のぼくらは^{ねんせい}班でオリジナルの『図鑑』をつくらなあかん。『おしごと図鑑』に『ペット図鑑』、ほかの班はしっかりやってるのに……。家にかえってかんがえていると、へやのすみから^{こゑ}声がきこえた。「ここから、だしてや！」



◆小学5・6年生から◆

(46) ^{いのち}命を救う ^{すく}心を救う ^{とじょうこく いりやう}一途上国医療に人生をかける ^{しょうに げ か い}小児外科医「ジャパンハート」 ^{よしおかひで と}吉岡秀一

ふじもとみさと 文
佼成出版社 151P 22cm 1,500円 〔医療〕

まずいい人たちの役に立ちたい……小児外科医の吉岡先生は東南アジアのミャンマーで^{むじょう}無償の医療活動をはじめた。そこはまどくな医療機器も薬もそろわない^{かんきょう}環境。手術中^{しゅじゅつ}に^{いでん}充電すること。困難な環境でも心の通う医療を目指し、手術台に向かう。



(47) うそ ふ 嘘吹きネットワーク

久米絵美里 著
PHP研究所 255P 20cm 1,400円 〔日本文学〕

新しい学年になって、大量のデマや偽画像が飛びかうようになった。学級委員の理子には6年1組を嘘という悪から救い出さねばならない責任があった。理子は写真館にのりこみ、少年に向かって声を荒げた。「八吹錯！金輪際、嘘をつくのはやめなさい！」



(48) うみ なか ち きゅう かんが 海の中から地球を考える —プロダイバーが伝える気候危機—

武本匡弘 著
汐文社 183P 20cm 1,600円 〔環境〕

サンゴは白くなって砕け落ち、海藻の森は次々と姿を消し、海の砂漠化が広がっている。太平洋の真ん中もゴミだらけで砂浜にも大量のプラスチックゴミがあふれている……。現実から目を背けずに温暖化や気候危機を調べよう。「知ることは希望」だ。



(49) き どうぶつ エヴィーのひみつと消えた動物たち

マット・ヘイグ 作 宮坂宏美 訳 ゆうこ 絵
ほるぷ出版 247P 22cm 1,500円 〔外国文学〕

ロンドンに住む11歳のエヴィーは動物が好き。動物と会話ができるギフトというとくべつな力を持っている。でも、悪いことがおこるからだれにも言っちゃいけないって。パパとおばあちゃん以外だれもその力を知らなかった。あのウサギの日までは……。



(50) この世界からサイがいなくなってしまう —アフリカでサイを守る人たち—

味田村太郎 文
学研プラス 119P 22cm 1,400円 〔動物〕

南アフリカの人びとにとってサイは特別。国のシンボリックな存在となっている。サバンナで暮らすサイは無敵で、大人になると超重量級。しかし、とても強いはずのサイがいま絶滅しそうになっている。サイをめぐる、何が起きているのだろう。



(51) 空を飛ぶミジンコのなぞ

星輝行 写真・文
少年写真新聞社 64P 19×27cm 1,700円 〔生物〕

春の田んぼや学校プールで生きものを観察すると、たくさんのミジンコが泳いでいた。冬にかんそうする田んぼや消毒をして使用するプールなのに、飛ぶためのはねも、地面を歩くためのあしもないミジンコは、どこからやって来たのだろうか？



(52) 天の台所

落合由佳 著

講談社 205P 20cm 1,400円 〔日本文学〕

台所は、家の心臓なんだよ。よくそう言っておいしいごはんを作ってくれたばあちゃんは、もうこの世にいない。6年生の天は弟、妹、父の4人家族となり、夕飯は弁当やそうざいばかり。そんなとき、天は近所のがみがみおこる、がみババにつかまった。



(53) はじめての夏とキセキのたまご

麻生かづこ 作 酒井以 絵

ポプラ社 229P 19cm 1,400円 〔日本文学〕

5年生の世夏は、田舎の星原村に引っ越してきた。友だちと別れるのはいやだったし、都会が好き。でもまわりにあるのは山、山、山。気を取り直して、散歩にでかけると「恐竜の町→」の看板が。矢印の方向へ歩くと、空き地にいるふたりの男子に出会った。



(54) ひまりのすてき時間割

井嶋敦子 作 丸山ゆき 絵

童心社 206P 20cm 1,300円 〔日本文学〕

「ねえ、見て見て、真由！」幼なじみのひまりの元気すぎる声。「『ひまりのすてき時間割』って、なにこれ」6年生になっていつきだし、ティッシュ万札事件で元気をなくしていたひまり。このノートの中に、ひまりが元気になった理由がきくと書いてある。



(55) 111 本の木

リナ・シン 文 マリアンヌ・フェラー 絵 こだまともこ 訳

光村教育図書 36P 26cm 1,400円 〔創作絵本〕

「女の子が生まれるたびに、111 本の木を植えておいわいしよう」村長のスンドルさんは村の人たちに自分の考えを話した。インドのこの村では、おいわいするのは男の子が生まれたときだけだった。「女の子が生まれたらおいわいするだって？とんでもない」



(56) ベサニーと屋根裏の秘密

ジャック・メギット・フィリップス 著 橋本恵 訳 イザベル・フォラス 絵

静山社 276P 20cm 1,600円 〔外国文学〕

「人間の子どもは、食べ物じゃありません！」見かけは二十歳のエベニーザーは、512 歳の誕生日までに、怪物の食べたい物を用意しないと今年分の不老薬を手に入れることができない。そこで、連れてきたのが、ベサニーという女の子だった。



(57) ベランダに手をふって

葉山エミ 作 植田たてり 絵
講談社 173P 20cm 1,400円 〔日本文学〕

5階の右から4番目のベランダ。お母さんが立っていて、5年生のぼくをみつけると、手をふってくる。ぼくも手をふってこたえるのが日課だ。さあ、学校へ行くぞ。そう思ったとたん、人が立ちはだかった。「おまえ、お母さんにバイバイしてもらってた」



(58) リリかさんのぬいぐるみ診療所 ―空色のルリエル―

かんのゆうこ 作 北見葉胡 絵
講談社 127P 22cm 1,400円 〔日本文学〕

どんなにぼろぼろになったぬいぐるみでも、まるで生まれかわったように、いきいきとしたすがたでもどつてくと評判の「リリかぬいぐるみ^{しんりょうじょ}診療所」。ぬいぐるみを直すうでのいいリリかさんには、たった一つだけ、だれも知らないひみつがあった。



(59) わたしたちの物語のつづき

濱野京子 作 森川泉 絵
あかね書房 172P 21cm 1,300円 〔日本文学〕

6年生のわたしは地味なノートに気づいた。クラスの子が落としたのかな。表紙をめくると独特のクセのある字。「妖精^{どうとく}リーナの……冒険^{ぼうけん}？」もしかしてこれって物語？自分に自信がないリーナに共感し、先まで読んでしまった。だれが書いたのだろう。



(60) わたしの気になるあの子

朝比奈蓉子 作 水元さきの 絵
ポプラ社 209P 19cm 1,400円 〔日本文学〕

女の子らしさって、なんだろう。6年生の^{るみな}瑠美奈は、いろんな女の子らしさのとらえ方があってもいいはずだと感じている。教室に入ると、えっ、と目を見はった。^{こやなぎしおん}小柳詩音の頭は見事なま^{まるが}で丸刈りだったのだ。いきなり^{ぼうず}坊主なんて、どうしたんだろう。



◆中学生から◆

(61) 赤い糸でむすばれた姉妹

キャロル・アントワネット・ピーコック 作 日当陽子 訳
フレーベル館 319P 20cm 1400円 [外国文学]

養子になるため中国からアメリカに渡る^{わた}ることになった12歳のウェン。児童養護施設^{しせつ}で共に暮らした親友シューリンの養子先が見つからず、素直に喜べない。14歳までに決まらなければ養子には行けない。親友のための家族さがしが始まる。



(62) あしたの幸福

いとうみく 著 松倉香子 絵
理論社 285P 19cm 1,400円 〔日本文学〕

2週間前パパが事故で死んでひとりぼっちになった。わたしはこれからどうなるの。おばさんの家も大変そうだし、このまま自分の家で暮らしたい。そんなときにかかってきた1本の電話。「お困りでしたら、わたしと住みますか?」——だれ?



(63) 海を見た日

M・G・ヘネシー 作 杉田七重 訳
鈴木出版 285P 20cm 1,600円 [外国文学]

里親の家で一緒に暮らす3人の子どもたち。そこへ新しく来た男の子がどうしても母親に会いたいと言う。その願いをかなえるため、4人は冒険に出る。寄り道して初めて乗った観覧車からは、小さく町が見えた。そして、その先には……嵐がとまった。



(64) カイトとルソンの海

土屋千鶴 作
小学館 202P 20cm 1,300円 〔日本文学〕

瀬戸内^{せとうち}の海で水軍が活躍^{かつやく}していた時代。島の少年カイト^{うで}は腕のいい船乗りの父さんを尊敬していた。その父さんの船で連れてこられたのが、自分たちとはちがう茶色^{はだ}い肌の少年ルソン。最初は言葉も通じない二人だったが、行動を共にするうちに……。



(65) セカイを科学せよ！

安田夏菜 著
講談社 239P 20cm 1,400円 「日本文学」

日本人の父さんよりロシア人の母さんに似た俺は、平和に無難に生きるよう世渡りスキルを向上させている。だからアメリカと日本にルーツのある転入生が「好きなものはムシです」って言ったときは驚いた。自己紹介でそんなことを言っているのか？



(66) そらのことばが降ってくる ―保健室の俳句会―

高柳克弘 作

ポプラ社 231P 20cm 1,400円 〔日本文学〕

保健室登校のソラ、学年一の問題児ハセオ、弓道で全国大会出場を果たしたユミ。そんな3人を結びつけたのが、ヒマワリ句会。俳句なんて古臭い？五・七・五の短い音数だからこそ表現できる言葉の輝きが、心の中で化学反応を引き起こしていく。



(67) 庭

小手鞠るい 作

小学館 220P 19cm 1,400円 〔日本文学〕

中2の3学期、あたし、真奈が引きこもりになった原因は、サイバーいじめだった。まさか親友の歌恋まで加担していたなんて……。 「ちょっとでも、いやな日本から遠ざかっていられる」と、スマートフォンを捨て、祖母のいるハワイへ向かった。



(68) #マイネーム ―ハッシュタグ・マイネーム―

黒川裕子 作

さ・え・ら書房 228P 20cm 1,400円 〔日本文学〕

自分の名前がきらいなやつ集まれ——この投稿から始まった。学校では名字に“さん”をつけて呼び合う「SUNさん運動」がスタート。親の離婚で名字が変わった明音は嫌悪感を抱き、学校の名札を外して「SGM」と書いた自作の名札をつけた。



(69) はなの街オペラ

森川成美 作 坂本ヒメミ 画 井上征剛 監修・解説

くもん出版 331P 20cm 1,500円 〔日本文学〕

時は大正。東京のお屋敷に奉公に出た14歳のはなは、ふとしたきっかけから浅草オペラで代役として舞台上立つことに。「幕が上がってしまったら、もう、どんな言いわけもすることはできない」オペラ歌手・谷ハンナとしての人生が始まる。



(70) 春のうさぎ

ケヴィン・ヘンクス 作 原田勝 大澤聡子 訳

小学館 189P 20cm 1,400円 〔外国文学〕

12歳のアミーリアは、春休みの陶芸工房で同い年の男の子ケイシーと出会う。彼の両親は離婚の危機にあった。一方アミーリアは2歳で母親と死に別れていた。二人は会話を重ねるうちに意気投合する。そんなある日ケイシーが一つの提案をした。



(71) マイブラザー

草野たき 著

ポプラ社 260P 20cm 1,500円 〔日本文学〕

中学2年生の海斗^{かいと}は、わんぱくな5歳の弟・総也^{そうや}の面倒を見ることで、夢も希望もない日々から目をそらし「ジュウジツ」した毎日を過ごしていた。「総也のおかげ……」そんなある日、一番会いたくないと思っていたアイツと再会してしまう。



(72) みつばちと少年

村上しいこ 著

講談社 253P 20cm 1,400円 〔日本文学〕

ぼくは中1。クラスにはだれも友だちがいない。この夏、北海道にいるおじさんのところへ一人で行くことに。寝泊まりすることになった『北の太陽』には5人の子どもたちがいた。ぼく、そこで初めておしゃべりが楽しいって思えたんだ。



(73) メイドイン十四歳

石川宏千花 著

講談社 215P 20cm 1,400円 〔日本文学〕

自他共に認める優等生・吉留藍堂^{よしとめらんどう}は、性格が良くして何でもほどほどにできてしまう。ある日担任から、転入生の浅窪君^{あさくぼ}のお世話係を頼まれる。初日、待ち合わせ場所に現れたのは、包帯ぐるぐる巻きの男の子だった。予想通り、周りに好奇の目で見られ……。



(74) 妖怪コンビニで、バイトはじめました。

令丈ヒロ子 著

あすなろ書房 222P 20cm 1,400円 〔日本文学〕

新しい母親に、葉っぱ柄のカーテン。今までと違う“家族”に落ち着かない少年イズミ。ふらりと立ち寄ったのは薄暗い「ツキヨコンビニ」。風変わりな商品に、風変わりなお客さん。イズミはそんな不思議なコンビニでバイトをはじめることになった。



(75) ルーミーとオリーブの特別な10か月

ジョン・パウアー 作 杉田七重 訳

小学館 331P 19cm 1,500円 〔外国文学〕

幼くして母と死に別れ、半年前に最愛の父も亡くした12歳の少女オリーブ。写真でしか知らない16歳年上の姉との新生活は不安だらけ。そんなとき盲導犬候補の子犬ルーミーと出会う。彼女とルーミーの特別な10か月が始まった。



選 定 委 員

大 野 裕 美	(高木幼稚園)	小河内 めぐみ	(南甲子園幼稚園)
清 水 鮎 美	(春風幼稚園)	福 田 むつみ	(越木岩幼稚園)
藤 川 優 子	(大社幼稚園)	濱 田 恵 美	(東山台小学校)
久 島 典 子	(春風小学校)	増 田 千 勢	(広田小学校)
参 河 朗 子	(津門小学校)	柚 木 智 子	(深津小学校)
小 林 陽 子	(用海小学校)	小 丸 麻 里	(安井小学校)
塩 野 恵 子	(浜脇小学校)	菅 谷 句美子	(平木小学校)
西久保 蓉 子	(鳴尾東小学校)	上 田 綾 子	(塩瀬中学校)
坂 本 文 枝	(甲陵中学校)	高 田 直 子	(元・鳴尾中学校)
辻 一 江	(上ヶ原中学校)	松 井 智 華	(平木中学校)
渡 邊 萌 子	(元・甲陵中学校)	井 上 千 恵	(中央図書館)
大 森 陽 子	(中央図書館)	小 林 亜希子	(中央図書館)
谷 口 陽 子	(北口図書館)	西 尾 美 和	(中央図書館)
橋 本 敦 子	(中央図書館)	樋 口 亜希子	(鳴尾図書館)
深 川 冴 起	(中央図書館)		

表紙 澤 利政・山口 志興

読んでごらんおもしろいよ2022

令和4年(2022年)7月1日発行

編集・発行 西宮市産業文化局生涯学習部読書振興課

〒662-0944 西宮市川添町15-26

TEL 0798-33-0189 FAX 0798-33-2266

西宮市立図書館ホームページ <https://tosho.nishi.or.jp>

共に学び・考え・行動する消費者市民社会の実現をめざして
西宮市では、
自分で考え、行動できる消費者の
育成を目指し、消費者教育を推進します。

●契約は慎重に!! おかしいと思ったら、ご相談ください●

西宮市消費生活センター[相談専用] TEL 0798-64-0999

または 消費者ホットライン 188(いやや)

子ども安全メール from 消費者庁

子どもの事故に関する情報や豆知識をあなたの携帯電話に配信します!

登録はコチラ→

消費者庁携帯サイト
QRコード



